

2025年度実務経験のある教員等による授業科目

No.	科目名称	単位数	開設学部等	履修対象学部・学科	担当教員	教員経歴	授業内容
1	平和構築・紛争予防	2	全学共通基幹科目 世界教養プログラム(応用)	全学部・全学科	堀部 純子准教授	国際機関、政府機関における勤務	核軍縮、不拡散、核テロなどに関連する国際機関、政府機関での実務経験に基づく知見を取り入れながら、軍縮・不拡散外交の実務や実際に学びに取り入れる。
2	中国ビジネス実践講義	2	外国語学部中国語学科 専修科目	全学部・全学科 (全学開放科目)	真家 陽一教授 〔オムニバス形式〕	外部講師：中国ビジネスの第一線で活躍した経験豊かなビジネスパーソン(業界：重工業、化学、商社、マスコミ、電機、通信、金融、自動車、航空)	中国でのビジネス経験のある企業関係者等を招聘し、日本の政府機関で日本企業の海外ビジネス支援業務に従事してきた経験に基づき開設を加え、中国ビジネスに対する理解を多面的に深める。
3	メディアスポーツ論	2	現代国際学部国際教養学科 ※現代国際学部内の他学科は学部開放科目 ※他学部は全学開放科目	現代国際学部国際教養学科 専修科目 全学部・全学科 (全学開放科目)	後藤 希望准教授	放送局における番組制作業務(37年)	1989年から国内外で放送局のスポーツ報道に携わっており、特にオリンピックは1996年アトランタ大会以降、パラリンピックは2000年シドニー大会以降の全大会で現地に赴いている。番組制作を通して得た体験を織り交ぜながら、スポーツがメディア・コンテンツとして消費される仕組みと背景を解説する。
4	エアライン概論	2			石田 智代教授 〔オムニバス形式〕	航空会社における客室常務、訓練教官業務、安全及び機内サービス品質管理、人材育成、組織マネジメント、機内サービス企画運営、産学連携業務における複数大学での講義 外部講師：航空会社・ハンドリング企業の実務担当者	航空に関する用語、産業の特色などの基礎知識を得た後、実際に活躍している講師の講義を通してエアラインのさまざまな仕事や現状について学び、業界への理解を深める。航空に関する基礎的な知識を学び、エアライン業界の課題、社会に果たす役割について考えるとともに、自身のキャリアを考える足掛かりとする。
					今泉 景子准教授 〔オムニバス形式〕	グランドスタッフ業務(16年) 外部講師：航空会社・ハンドリング企業の実務担当者	民間航空の歴史、航空の基礎知識、日本と海外のエアライン等について解説し、さらに航空業界の各職種について、現役もしくは実務経験者による現場の様子の話や体験談を含めて講義を行い、エアラインに関連する基礎知識を習得し、エアライン業界への理解を深める。
5	航空ビジネス論	2			今泉 景子准教授	グランドスタッフ業務(16年)	航空輸送の特徴、空港、エアラインコスト、旅客・航空貨物の収入等、航空業界の実際を理解するために、航空事情や体験談を含めて講義を行い、エアラインをビジネス視点で学ぶ。
6	エアライン・サービスフロント研究	2			石田 智代教授	航空会社における客室常務、訓練教官業務、安全及び機内サービス品質管理、人材育成、組織マネジメント、機内サービス企画運営、産学連携業務における複数大学での講義	エアラインのサービスフロントの仕事を学び、業界や仕事への理解を深める。業務の経験者が講師を務め、体験や現状を踏まえて講義を行う。また、航空業界の特徴、変化し続ける業界の現状や課題、国際空港での出入国ルール等も取り上げ、エアラインのしくみや社会における役割について理解を深め、視野を広げる。
					今泉 景子准教授	グランドスタッフ業務(16年)	主なサービスフロント業務であるキャビンアテンダント(客室乗務員)とグランドスタッフ(空港地上スタッフ)、それぞれの業務内容について研究することで、航空業界に限らず、幅広く将来の進路選択に役立てることを目標とする。現場の様子や体験談を含めて講義を行う。
7	ホスピタリティ基礎演習	2			石田 智代教授	航空会社における客室常務、訓練教官業務、安全及び機内サービス品質管理、人材育成、組織マネジメント、機内サービス企画運営、産学連携業務における複数大学での講義	ホスピタリティについての知識・考え方を学び、日常の中で実践することにより、豊かな人間関係の構築、他者を受入れ自身の視野を広げることを目指す。航空会社における経験に基づき、ホスピタリティ、安全、人材育成、ビジネス等多面的な観点から実例を取り入れた講義を行う。
					今泉 景子准教授	グランドスタッフ業務(16年)	身の回りにあるホスピタリティの例を研究することにより、ホスピタリティの本質についての理解を深める。また、日常生活のみならず、サービス産業におけるホスピタリティの重要性を学び、最終的にホスピタリティを行動に結びつけられることを目指す。体験談などを含めて講義を行う。
8	ホスピタリティ特別演習	2			石田 智代教授	航空会社における客室常務、訓練教官業務、安全及び機内サービス品質管理、人材育成、組織マネジメント、機内サービス企画運営、産学連携業務における複数大学での講義	航空会社での実務経験に基づき、ケーススタディを通して、社会の中におけるホスピタリティを多面的に学び、ホスピタリティの重要性を考察する。ホスピタリティに関する知識、ディスカッションやグループワークで得た気付きを日常の中での行動につなげるプロセスを経てホスピタリティへの理解を深める。
					今泉 景子准教授	グランドスタッフ業務(16年)	「ホスピタリティ」をより深く学び、実践につなげることを目指す。体験談などを含めて講義を行う。
9	現代国際学特殊講義A－1	2	現代国際学部専修科目 現代国際学特殊講義	現代国際学部全学科 ※他学部は全学開放科目	Alessandro G. Gerevini准教授 ムーディ 美徳教授・ 〔オムニバス形式〕	外部講師：現代社会の多岐にわたる分野で活躍する実務家講師陣(オムニバス形式) 講師は、年度、学期により変更する	現代の国際社会の中で生きていくためにどのような教養や知識が必要であるか、各業界の事情や豊富な経験談をふまえて解説する。
10	現代国際学特殊講義A－2	2			Alessandro G. Gerevini准教授 ムーディ 美徳教授・ 〔オムニバス形式〕		
11	航空概論	2	自由選択科目 企業提携プログラム	全学部・全学科	竹ノ内 典子教授	航空会社における航空機内接遇、品質管理、人材育成、組織マネジメント、機内サービス企画開発に関する業務、航空関連会社における機内サービス品企画・調達、企業研修提供・人材派遣に関する業務、経済団体における国への観光提言	エアラインの「カスタマー部門」と「オペレーション部門」の代表的な業務を取り上げ、エアラインで提供するサービスの成り立ちとそれぞれの役割について理解を深める。サービス品質、顧客満足、事業戦略についての各部門の取り組みを示して講義する。
12	ホスピタリティ応用演習	2			竹ノ内 典子教授	航空会社における航空機内接遇、品質管理、人材育成、組織マネジメント、機内サービス企画開発に関する業務、航空関連会社における機内サービス品企画・調達、企業研修提供・人材派遣に関する業務、経済団体における国への観光提言	顧客満足、従業員満足、顧客の課題解決等、付加価値の追求に向けて、ホスピタリティをどのように戦略化しているかを考察し、ホスピタリティを発揮するための「行動や意識」について掘り下げる。サービス品質、ホスピタリティ、顧客満足について実践例を示して解説する。
13	航空産業論	2			竹ノ内 典子教授	航空会社における航空機内接遇、品質管理、人材育成、組織マネジメント、機内サービス企画開発に関する業務、航空関連会社における機内サービス品企画・調達、企業研修提供・人材派遣に関する業務、経済団体における国への観光提言	取り巻く環境に影響を受けやすい航空産業はどのような対応が必要か、国際的な事業環境変化の中でいかに適合して勝ち残っていくか、航空の歴史と規制緩和、社会のニーズ、企業の戦略から課題と展望を考察する。規制緩和、経営戦略、顧客満足、社会貢献等の実例を取り上げ講義する。
14	学外実地研修(国内)	2	専修科目 国際教養科目群	現代国際学部・国際教養学科 ※現代国際学部内の他学科は学部開放科目 ※他学部は全学開放科目	今泉 景子准教授・ 石田 智代教授	学内での指導：国際空港において航空会社のハンドリング業務を担う企業での勤務経験を有する教員 学外での指導：国内の国際空港においてハンドリング業務を請け負う企業のスタッフ	長期休暇を利用して、空港においてグランドスタッフ業務の補助作業を通しての研修を実施する。 航空会社において大切な「安全性」「定時性」「サービス、ホスピタリティ」を体験しながら、航空会社とグランドスタッフの仕事への理解を深める。
15	学外実地研修(海外)	2			今泉 景子准教授・ 石田 智代教授	学内での指導：国際空港において航空会社のハンドリング業務を担う企業での勤務経験を有する教員 学外での指導：国内航空会社の海外支店において関連業務に携わるスタッフ	航空会社の海外支店において、マーケティング業務、客室・航空貨物・整備業務等に関連する講座の受講、空港業務見学等を通して、海外での企業活動の実際の理解を深める。
16	インターンシップ・仕事体験学外研修(国内A)	2	自由選択科目 キャリアデザイン科目	全学部・全学科	真家 陽一教授	学内での指導：主としてキャリア教育開発委員会委員 学外での指導：インターンシップ受入れの覚書を交わした企業、地方自治体、NPO法人の現職担当者	企業等の業務を直接体験することを通して、自らの専攻と将来のキャリアに関連した就業体験を行う。自己を正しく認識し、仕事に取り組む姿勢を磨き、社会の一員として責務を全うする心構えをつくり上げる。
17	インターンシップ・仕事体験学外研修(国内B)	2			真家 陽一教授		
合 計		34					